

～雪から広がるさまざまな学びの世界～  
第4回『雪の総合的な学習』研究会 を開催

- 教育実践総合センター・附属札幌小学校 -

教育実践総合センターと附属札幌小学校が中心となって、身近な雪を教室で広く活用してほしいとの願いから雪プロジェクト（雪プロ）を進めてきました。道内の教育現場の先生方や学芸員、研究者、行政の方、企業の方など多くの方にお集まり頂いております。標記研究会は雪プロの成果を教育現場へ普及させる取組みです。今年度は、2月10日（金）に附属札幌小学校を会場に開催しました。礼文町からなど数名の先生が悪天候のため欠席となりましたが、小学校教員の方々を中心に行政、企業の方など全道各地から144名の方にご参集頂きました。

午前中は公開授業で3年生「冬の『あったか』再発見！」で、授業者は千葉一博先生と小川聡子先生（附属札幌小）です。当日はインフルエンザのため学年閉鎖となるハプニングが発生しましたが、参加者の先生方に児童役をお願いし、模擬授業を行いました。学校のボイラー技師の方の色々な悩みを聞き、自分たちで「あたたかさ」を生み出す・保つ方法を考えてみようとするものでした。参加者の先生方からは地球温暖化とどう結びつけるか、子供たちの学習をどう深めるかなど質問があり、非常に活発な討論が行われました。また、総合的な学習のゴールをどう考えるかという本質的な議論も深めることができたのが大きな収穫でした。総合的な学習の意義が各先生の様々な実践を通して、見えてきたように感じました。

午後は村山学長から激励のご挨拶を頂いた後、雪プロの新企画「写真 冬ズバツ！」の模擬授業を行いました。これは一枚の写真から雪に関する

授業が誰でも直ぐにできるようにしようというもので、より多くの先生方に雪の学習の取っ掛かりにしてほしいとの願いからです。内容は「雪と暮らそう！」（割石隆浩先生・札幌市立新琴似緑小）、「衣替えをしよう！」（伊藤健太郎先生・札幌市立円山小）、「ゆきのかんさつ～天からの手紙調べ」（手嶋香先生・美唄市立西美唄小）です。また、沖縄とのインターネット交流授業「冬のくらし再発見」を中継・紹介しました（神林裕子先生・札幌市立屯田南小、新垣英司先生・宜野湾市立嘉数小）。尚、「写真 冬ズバツ！」はWebページ「北海道雪たんけん館」の「雪の総合研究室」の中に掲載されています。

堀田龍也先生（メディア教育開発センター）には、今日の授業を評価頂くと共に、「IT教育最前線から雪プロジェクトへの期待」をご講演頂きました。深いご理解を賜り、雪プロ応援団になって頂いております。総合的な学習の今後やIT活用と情報教育の違い、授業場面でのITの日常的活用、雪プロ新企画の意義などについて、今回も説得力抜群のお話をして頂きました。

事後アンケートでは、90%近くの方が教室で直ぐに使える情報があったと答えていますが、「雪たんけん館」をあまり見ていない方も多いことがわかりました。研究会などを通して、本学と全道の教育現場を結ぶ本活動の普及を更に図って行きたいと思っております。

最後になりましたが、本研究会を支えて頂いた多くの方々に深謝申し上げます。（高橋庸哉）



模擬授業「冬の『あったか』再発見！」



模擬授業「衣替えをしよう！」